

# 令和元年度指定管理者運営状況検証シート

|      |               |
|------|---------------|
| 県所管課 | 土木部道路都市局都市整備課 |
|------|---------------|


1. 施設名等 令和2年3月31日現在

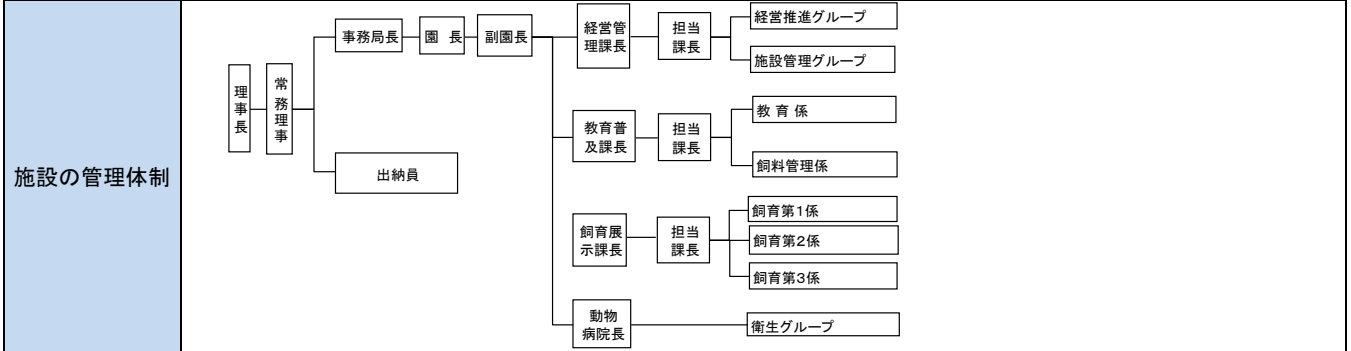
|                |                      |                 |  |
|----------------|----------------------|-----------------|--|
| 施設名<br>(設置年月日) | とべ動物園<br>(昭和63年4月1日) | 所在地<br>電話<br>HP | 愛媛県伊予郡砥部町上原町240<br>089-962-6000<br>http://www.tobezoo.com/ |
|----------------|----------------------|-----------------|--|

## 2. 指定管理者

|        |                 |      |                             |
|--------|-----------------|------|-----------------------------|
| 指定管理者名 | 公益財団法人 愛媛県動物園協会 | 指定期間 | 平成31年4月1日 ~ 令和6年3月31日 (5年間) |
|--------|-----------------|------|-----------------------------|

## 3. 施設の概要と指定管理者が行う業務等

|            |  |  |
|------------|--|--|
| 設置目的       | 県民が動物とふれあい、豊かな心を助長させるとともに、動物の知識を得て動物愛護の精神を学ぶ教育の場として、また憩いや潤いを提供する場として設置   | 施設の外観<br> |
| 施設内容       | 主要施設<br>○ 獣舎…カンガルー・ワラビー舎ほか35棟    ○ 管理施設…管理事務所ほか14棟<br>○ 便益施設…便所ほか8棟  |  |
| 指定管理者が行う業務 | ①運営に関する業務<br>②愛媛県立都市公園条例第6条の規定による公園の利用の禁止又は制限に関する業務<br>③利用の許可に関する業務<br>④利用に係る料金の収受に関する業務<br>⑤利用者への便宜の供与に関する業務<br>⑥利用の促進に関する業務<br>⑦施設、附属設備及び備品の維持管理に関する業務<br>⑧その他知事が定める業務 |  |



|       |  |
|-------|--|
| 利用料金等 | 利用料金制 <input checked="" type="checkbox"/> 採用している <input type="checkbox"/> 採用していない<br>前年度からの変更 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし<br>(変更ありの場合、その内容)<br>令和元年10月1日付けで消費税率が8%から10%に引き上げられたことに伴う利用料金の改定 |
|-------|--|

|          |  |
|----------|--|
| 開館日・開館時間 | 毎週月曜日(月曜日が休日の場合は、翌平日)及び12月29日から1月1日までを除き開園<br>午前9時から午後5時まで |
|----------|--|

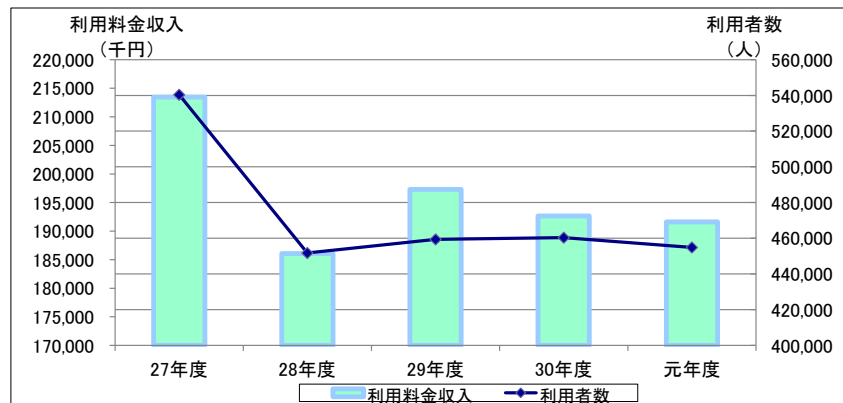
## 4. 指定管理業務に係る県の委託料(協定締結額)

| 年度       | 平成27年度  | 平成28年度  | 平成29年度  | 平成30年度  | 令和元年度   | 令和2年度   |
|----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 県委託料(千円) | 350,881 | 350,881 | 350,881 | 341,388 | 372,383 | 371,212 |

## 5. 施設の利用状況

### (1) 施設の利用者数と利用料金収入

| 年度         | 平成27年度  | 平成28年度  | 平成29年度  | 平成30年度  | 令和元年度   | 対前年度増減率 |
|------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 利用者数(人)    | 540,360 | 451,761 | 459,384 | 460,308 | 454,888 | △ 1.2 % |
| 利用料金収入(千円) | 213,455 | 186,066 | 197,291 | 192,663 | 191,602 | △ 0.6 % |



### (2) 利用者数、利用料金収入の増減理由

対前年度増減率が±5%以上の場合、その理由

|          |  |
|----------|--|
| (利用者数)   |  |
| (利用料金収入) |  |

## 6. サービスの質向上に向けた取組み

### ア) サービス向上を図る主な取組み

(○は指定管理者制度導入以降、継続的な取組み、☆は令和元年度の新たな取組み、※は利用者からの要望により実施)

| 令和元年度の内容  | 令和2年度の内容(予定含む)   |
|---|--|
| ○夜の動物園の開催、動物の誕生会他の事業の実施<br>○移動動物園、サマースクールなどによる動物の知識及び愛護思想の普及活動を例年同様行う。<br>○年間パスポートや各種割引制度、コンビニでの前売り販売などの入園料金のサービス、こどもの城及び総合運動公園との駐車料金の連携サービスの継続<br>○動物の魅力PRするトークイベントを園外で開催<br>※施設設備の改修・更新 ※アシカ舎改修<br>☆しろくまピース20歳記念行事(砥部町成人式への出席、記念講演会。記念グッズ作成配布等)<br>☆ボランティアセンターの設置 | ☆ボランティアガイド活動<br>☆「総合運動公園」「こどもの城」との県立3施設協働での「とべもり」としての事業実施や共同PRなどをすすめる。<br>○夜の動物園の開催、動物の誕生会他の事業の実施<br>○移動動物園、サマースクールなどによる動物の知識及び愛護思想の普及活動を例年同様行う。<br>○年間パスポートや各種割引制度、コンビニでの前売り販売などの入園料金のサービス、こどもの城及び総合運動公園との駐車料金の連携サービスの継続<br>※施設設備の改修・更新 アシカ舎改修<br>こどもの城とアスレチック遊具で連結するジップライン工事・3Dトリックアート事業 |

### イ) 利用者からの声への対応状況(令和元年度)

| 利用者からの評価や苦情・要望の主な内容  | 利用者からの苦情・要望への主な対応状況  |
|--|--|
| アンケートで集まった利用者からの要望<br>・真夏にホースで水など増やしてほしい。暑そうだから。<br>・いつもげんきをもらってます！暑い日が続きますが頑張ってください。<br>・動物のエサやりetcスキンシップを増やせたらより楽しいと思う。<br>・動物の自然に近いようすが見たい。ワニとか広いスペースになるとおもしろいと思う。<br>・スタンブラリーが楽しかった。 | ・夏場は、入口ゲートに大型ミストを設置し稼働している。<br>・イベントに関しては、新型コロナウイルス感染症対策を考慮し、対策をしたうえで可能なものを実施する。<br>・動物が自然な姿に近い状態で展示できるよう、獣舎改修時に配慮しています。<br>・施設の改修や修繕については、今後も県と協議しながら計画的に進めていきたい。 |

## 7. 令和元年度実績に係る施設の利用状況及びサービスの質向上に向けた取組みに関する確認・検証

| 指定管理者の自己検証  | 県の施設所管課の確認・検証意見   |
|---|---|
| 元年度は、引き続き広報・営業班による広報宣伝活動など入園者の増加に取り組んだほか、来園者のニーズに応え、研究活動報告会や砥部町の成人式への参画等の取り組みを手掛け、新たな入園者層の呼び込みに努めた。また、動物園魅力向上戦略検討委員会の検討結果を踏まえて県が昨年度に引き続いて実施したグランピングや冬季のイルミネーション等により2月までは、対前年度3%増と好調で、そのまま推移すれば合計48万人程度の入園者が見込まれたが、3月からの新型コロナウイルス肺炎感染症の影響を受けて、最終的に454,888人、対前年度5420人の減少(-1%)となった。<br>元年度予算については、入園者数を49万人と見込んでいたため大幅な減収となったが、光熱水料費や飼料費、燃料費などの経費の削減に努めたこと、高額の寄付があったことなどから、当期収支差額は、9,000千円程度の赤字でとどめた。<br>開園30余年を経過しており、魅力向上のためには、老朽化した施設を修繕した上で、新規動物の搬入や、獣舎改修が必要であるが、未修繕箇所が増えているのが現状である。今後は県が設立したとべ動物園魅力向上戦略検討委員会の検討結果を踏まえ、とべ動物園魅力向上基金を有効活用したハード面中心の利用者の満足度を高める動物園づくりを引き続き取り組んでいきたい。<br>今後は来園者アンケートや電子メールなどの利用者の声に真摯に耳を傾け、県民に愛される魅力ある動物園づくりに耳を傾け、努力を続けていきたい。 | ・県が実施したグランピングやイルミネーション、ふれあいキャラバン隊等の事業に加えて、学生を対象とした飼育実習などの教育普及活動や動物の調査を積極的に行っており、県民から愛される施設づくりに取り組んでいる。また、他園とのフリーディングローンによりライオンやコツメカワウソなど多くの動物の導入を行っている他、サイやビューマ、ビントロングの繁殖に成功しており、飼育スタッフの技術力を発揮した動物展示が行われている。<br>・元年度は来園者増加が期待されていたものの、年度末に発生した新型コロナウイルス感染症の影響により過去10年間を振り返ると2番目に少ない来園者数となっている。来園者数の挽回に向けて今後も引き続き広報面の強化を続けるとともに、新しい生活様式に配慮しながら、動物に関する専門的な知識を活用したサービスの提供が求められる。 |

## 8. 指定管理者制度の導入による効果と課題の検証

|   |
|---|
| とべ動物園では平成31年4月に策定された「とべ動物園まじめ行動計画」をもとに魅力向上に取り組んでいるところであるが、令和元年度は年度末に発生した新型コロナウイルスの影響により年間入園者数は微減となった。指定管理者である愛媛県動物園協会については、高度な技術力を活かした動物の繁殖や、大学と連携を取った教育普及への取り組みを園内外で広く実施しており、県内の動物愛護思想普及のため大きな役割を果たしている点において高く評価できる。<br>今後はコロナウイルス感染症の影響が継続する中で入園者を取り戻すべく、展示動物の充実にも努めるとともに、利用者の増加につながる動物園の魅力向上に向けた話題性のある事業や持続可能な質の向上を目指した事業の実施、来園者の声に耳を傾けた環境づくりのためのさらなる努力が求められる。 |
|---|